



赤江分団が大賞を受賞

まちの防災力を高める活動をする団体を表彰する「防災まちづくり大賞」(消防庁主催)を、市消防団赤江分団が受賞しました。評価されたのは、広報誌による地域住民への防災の啓発活動。平成20年から年3〜4回発行している広報誌「絆」は現在、第31号を数えます。

紙面には操法大会の様子や団員紹介、赤江地区ならではの水害の注意記事などを掲載。安藤直樹分団長は「これからも発行を続け、地域の防災に取り組みたい」と話しています。



▶ 分団長の安藤直樹が、赤江地域の防災意識を高めるために、広報誌「絆」の発行に尽力しました。



▶ 写真を使って市長に報告する情報科学高校の皆さん。

IT学校甲子園の出場報告

市のふるさと寄附の返礼品PRページを手掛けた情報科学高校の生徒が「楽天IT学校甲子園」に出場。その様子やこれまでの取り組みなどを市長に報告しました。

生徒は授業の一環で電子商取引(eコマース)を受講。これを活用しながら5種類の返礼品のPRページを、企業を訪問するなどして作成しました。校内の代表チームが同甲子園に出場し、実際に作成したホームページを使いながらプレゼンテーションを競いました。

小学校にガスコンロを寄贈

一般社団法人島根県LPガス協会(森山健一会長)からこのほど、市内小学校にSiセンサーガスコンロが寄贈されました。同コンロは消し忘れ消火機能などを備えた安全性に優れたもの。山佐(4台)・井尻(5台)・安田(5台)小学校にそれぞれ設置されました。

このうち安田小学校では2月28日、5年生の家庭科の調理実習で早速使用。児童の皆さんは火力を微調整しながら「家族との団らん用のお菓子づくり」に挑戦していました。



▶ 新コンロを早速使いました。

市長会が圏域をPR

中海・宍道湖・大山圏域市長会では観光PRとして「山陰まんなか共和国」を宣言。この一環としてヤクルトスワローズの真中監督をPR大使に任命しました(任期・3月31日まで)。

沖縄県のキャンプ地で行った任命式には市長会を代表して近藤市長が、あらエッサクんとともに訪問。監督に委任状と5市の特産品を手渡し、圏域の良さなどをPRしてもらおうように要請しました。この模様はメディア各社にも取り上げられ、全国に発信されました。

まんながスワローズ真中監督

